

ニューズレター

第1号

発行日 2019年1月10日



今年も皆様の健康を願って、
お口の管理をして参ります。

2019年が始まりました。

今年は元号が変わったり、消費税率が変わったりと変化の年になりそうです。

皆様にとって良い1年になるよう願っております。

院内の紹介コーナー

①診療室のイラスト

当院の診療室は全部で4部屋あります。それぞれの部屋のドアには、部屋を表す数字と動物のイラストが描かれています。「動物病院でもないのになぜ動物のイラスト？」と疑問に思う方もいるかもしれませんが、イラストは小さなお子さんが理解しやすいようにするために使用しています。かつて院長が勤務していた日本歯科大学新潟病院の小児歯科では、診療イスを番号ではなくイヌ、ネコ、ライオンなど動物の名前で呼んでいました。歯科の受診を少しでも楽しいものにしようという工夫であり、実際にお気に入りの診療イスがあるお子さんや、診療のたびに「今日は何の動物かな？」と気にするお子さんなどいました。

当院でもそれに習い、動物のイラストを採用しました。イラスト自体は完全にオリジナルで、院長が自ら Illustrator というソフトで制作したものです。(ちなみに当院の歯のロゴも院長の自作です←ちょっと自慢)

そして「4番の部屋だけどうしてドアの絵なのか」と気になる方もいらっしゃると思います。理由を知りたい方は院長に是非、聞いてみてください。



目次

院内の紹介 コーナー

第1回目は、院内のイラストについてです。

院長のコラム

【裏面】

今回はキャッシュレス決済についてです。

今月のおすすめ 商品

【裏面】

今回は乳酸菌タブレットです。



院長のコラム 第1回 キャッシュレス決済

最近、キャッシュレスという言葉をよく耳にします。インターネットでキャッシュレスの意味を調べると「銀行口座への振り込みやクレジットカードによる支払いなどのように、現金のやりとりなしで決済がなされること。」とあります。日本の民間消費全体ではキャッシュレスがどの程度占めるのか調べてみると、キャッシュレス決済の比率は約20%だそうで、8割が現金払いということになります。韓国では約90%、米国や中国も50%前後がキャッシュレス決済なので、日本がキャッシュレス後進国と言われているのも納得できます。なぜ日本でキャッシュレス化が遅れているかというふたつのことが挙げられます。ひとつは日本が世界的にみて、銀行の店舗数もATMの設置数も非常に多く現金が簡単に手に入り、治安も良好なので、安心して現金を持ち運ぶことができることです。

もうひとつはデビットカード(海外でキャッシュレス決済の柱の一つとなっていて銀行口座から買い物代金を直接引き落とすカード)が、日本ではほとんど使われていないことです。クレジットカードの年間決済額約60兆円に対し、デビットカードは1兆円程度という状態です。また、日本では鉄道会社のSuica(スイカ)やコンビニのnanaco(ナナコ)など電子マネーの決済件数は伸びていますが、電子マネーは少額決済中心のため、決済額として5兆円程度とそれほど大きくないのだそうです。

そして今後のキャッシュレスの主戦場とみられるスマートフォンとQRコードを使った決済も中国などに比べ大きく出遅れているのが現状です。とはいえ、日本でも今後キャッシュレス化が進んでいくことは間違いありません。当院でもクレジットカードや電子マネーに対応していますので、お支払いの額が大きい時などに是非ご利用ください。



今月のおすすめ商品

歯科医院専売 乳酸菌習慣タブレット

ラクレッシュPro 90粒入 (30日分) ¥1,080

むし歯のない人から見つけたヒト由来の乳酸菌L8020を使用したタブレットです。砂糖ゼロでキシリトールを使用し、食べやすいヨーグルト風味になっています。糖分を控えたい時のおやつ代わりに、お子様も、妊娠中の方も、お年寄りにもおすすめです。また、歯科専売品は一般販売品と比較して乳酸菌が2倍になっています。1日3回食後に食べることをおすすめします。